



(題字 瀧澤 弘 学長)

第456号  
(平成14年12月号)

12月のトピックス

◇ 4日 平成14年度学長主催による外国人研究者及び外国人留学生との懇談会を開催



△韓国留学生の合唱

◇ 5日 平成14年度第2回富山大学運営諮問会議を開催



## 目 次

関 係 法 令 .....	3
学 内 規 則	
◆ 富山大学部局長会議規則の改正 .....	3
◆ 富山大学大学教育委員会規則の改正 .....	3
◆ 富山大学教養教育実施機構規則の改正 .....	4
◆ 富山大学教養教育実施機構内規の改正 .....	4
諸 会 議 .....	5
学 事	
◆ 平成14年度第2回富山大学運営諮問会議を開催 .....	6
人 事 異 動 .....	7
学 内 諸 報	
◆ 平成14年度学長主催による外国人研究者及び外国人留学生との懇談会を開催 .....	8
◆ 平成14年度第2回事務職員啓発セミナーを開催 .....	8
◆ 平成15年度産学官連携施策等説明会を開催 .....	9
◆ セラクシュアル・ハラスメント等に関する研修会を開催 .....	9
◆ 教育学部において自衛消防訓練を実施 .....	10
◆ 理学部FD（ファカルティ・デベロップメント）研修会を開催 .....	10
◆ 海外渡航者 .....	11
◆ 外国人来訪者 .....	11
主 要 行 事 .....	12
訂 正 .....	15

## 関 係 法 令

(法 律)

○法科大学院の教育と司法試験等との連携等に関する法律（139）（平成14. 12. 6官報号外第261号）

(規 則)

○人事院規則1-14（職員の身分補償）の一部を改正する人事院規則（人事院1-14-5）（平成14. 12. 25官報第3515号）  
○人事院規則17-0（管理職員等の範囲）の一部を改正

する人事院規則（同17-0-68）（同）

(告 示)

○在外教育施設の認定等に関する規程の一部を改正する件（文部科学198）（平成14. 12. 18官報第3511号）  
○我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を定める件の一部を改正する件（同214）（平成14. 12. 27官報第3517号）

## 学 内 規 則

### 富山大学部局長会議規則の改正

#### 富山大学部局長会議規則の改正理由

学長補佐の設置に伴い、所要事項を改める。

富山大学部局長会議規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成14年12月20日

富山大学長 瀧澤 弘

富山大学部局長会議規則の一部を改正する規則

(5) 学長補佐

富山大学部局長会議規則（平成11年9月17日制定）の一部を次のように改正する。

附 則

この規則は、平成 年 月 日から施行する。

第2条中第5号を第6号とし、第4号の次に次の1号を加える。

(注) 学長補佐の発令日をもって、施行日とする。

### 富山大学大学教育委員会規則の改正

#### 富山大学大学教育委員会規則の改正理由

教養教育実施機構長を担う学長補佐を設置し、副実施機構長を廃止することに伴い、所要事項を改める。

富山大学大学教育委員会規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成14年12月20日

富山大学長 瀧澤 弘

富山大学大学教育委員会規則の一部を改正する規則

第3条中第10号を削り、第9号を第10号とし、第5号から第8号までを1号ずつ繰り下げ、第4号の次に次の1号を加える。

富山大学大学教育委員会規則（平成12年3月31日制定）の一部を次のように改正する。

(5) 学長補佐（教養教育実施機構長）

第2条中第5号を削り、第6号を第5号とする。

附 則

第3条第2号中「(うち1人を機構長とする。)」を削り、同条第4号を次のように改める。

この規則は、平成 年 月 日から施行する。

(4) 附属図書館長

(注) 学長補佐の発令日をもって、施行日とする。

## 富山大学教養教育実施機構規則の改正

### 富山大学教養教育実施機構規則の改正理由

教養教育実施機構長を担う学長補佐を設置し、副実施機構長を廃止することに伴い、所要事項を改める。

富山大学教養教育実施機構規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成14年12月20日

富山大学長 瀧 澤 弘

富山大学教養教育実施機構規則の一部を改正する規則

第7条中第2号を削り、第3号を第2号とし、第4号から第6号までを1号ずつ繰り上げる。

富山大学教養教育実施機構規則（平成12年3月31日制定）の一部を次のように改正する。

第8条第2項中「副機構長がその職務を代行する」を「委員長があらかじめ指名した者がその職務を代行する」に改める。

第5条を次のように改める。

附 則

(教養教育実施機構長)

第5条 実施機構に、教養教育実施機構長（以下「機構長」という。）を置き、学長補佐をもって充てる。

この規則は、平成 年 月 日から施行する。

2 機構長は、教養教育の実施全般について総括する。

(注) 学長補佐の発令日をもって、施行日とする。

## 富山大学教養教育実施機構内規の改正

### 富山大学教養教育実施機構内規の改正理由

教養教育実施機構長を担う学長補佐を設置し、副実施機構長を廃止することに伴い、所要事項を改める。

富山大学教養教育実施機構内規の一部を改正する内規を次のとおり制定する。

平成14年12月20日

富山大学長 瀧 澤 弘

富山大学教養教育実施機構内規の一部を改正する内規

機構長」に改める。

富山大学教養教育実施機構内規（平成12年3月31日制定）の一部を次のように改正する。

附 則

この内規は、平成 年 月 日から実施する。

第3条中「教養教育副実施機構長」を「教養教育実施

(注) 学長補佐の発令日をもって、実施日とする。

諸

会

議

**入学試験実施委員会（12月5日）**

（審議事項）

- (1) 平成15年度大学入試センター試験富山大学試験場実施体制について
- (2) 平成15年度大学入試センター試験富山大学試験場実施要項（案）について

**入学試験管理委員会（12月13日）**

（審議事項）

- (1) 平成15年度大学入試センター試験富山大学試験場実施体制について
- (2) 平成15年度大学入試センター試験富山大学試験場実施要項（案）について

**入学試験実施委員会（12月13日）**

（審議事項）

- (1) 入学者選抜要項及び学生募集要項の作成、印刷時の校正方法等に関する要項について

**年史編纂委員会（12月16日）**

（審議事項）

- (1) 富山大学年史編纂委員会の解散について

**大学教育委員会（12月16日）**

（審議事項）

- (1) 学長補佐設置に伴う教養教育副実施機構長の取扱いについて
- (2) 平成15年度非常勤講師任用計画の策定について
- (3) インターンシップについて
- (4) 「富山大学において学位を授与された外国人留学生に対する学位記の英訳文の交付に関する申合せ事項」の一部改正について

**評議会（12月20日）**

（審議事項）

- (1) 学生の懲戒について
- (2) 北陸地区国立大学連合に関する協定について
- (3) エジプト国アシュート大学との大学間学術交流協定について
- (4) 富山大学部局長会議規則の一部改正について
- (5) 富山大学大学教育委員会規則の一部改正について
- (6) 富山大学教養教育実施機構規則の一部改正について

学

事

## 平成14年度第2回富山大学運営諮問会議を開催

本年度の第2回富山大学運営諮問会議が12月5日（木）に開催され、会長である石坂前富山国際大学長を始め、委員7人が出席されました。

会議の冒頭で瀧澤学長から「先日、募集要項の校正ミスが発生したことについて、深くお詫び申し上げます。管理体制の不備が原因であり、重大な責任を感じている。今後、再発防止のため、あらゆる方策を考えていきたい。国立大学の法人化に向けては、法人化準備委員会を設置して検討を進めている。3大学の再編・統合については、新大学構想策定委員会を設置して検討することとした。また、総合研究棟の竣工や授業公開の開始、国際シンポジウム等の開催など明るい話題もある。本日は、本学に対する皆さんの忌憚のない御意見をいただき、大学運営に生かしたい。」と挨拶がありました。

その後、本学から、国立大学の再編・統合について報告があり、各委員から以下のような意見等がありました。

- ・法人化のスケジュールを念頭において、検討を進めるべきである。
- ・新大学像を早く明確に示すべきである。
- ・教育学部の再編による教員養成機能を持った新学部の設置と高岡地区の芸術系学部の設置を再編・統合時までには詰めることとし、その他の課題は中期目標・中期計画の中で考えてはどうか。
- ・附属学校は存続できるのか。
- ・大学が変わる好機と考え、前向きに夢をもって進めてほしい。
- ・社会の変化に対応することが大学が生き残る道である。

引き続き、「国際的な連携及び交流活動について」本学の現状、課題について資料に基づき説明があり、主に以下の3項目について諮られ、提言をいただきました。

- (1) 本学の学生の国際感覚を高めるための方策について

- ・中国、韓国へ多くの学生を派遣し、アジアのエネルギーを感じさせてほしい。
- ・協定校の拡充と単位互換を積極的に進めてほしい。短期でもよいから、学生の留学の機会を大学として増やすべきである。
- ・短期間でも、外国の生活を経験させることが大切であり、本人の履歴として評価される。

- (2) 留学生と地域社会との関わりを推進する方策について

- ・外国人留学生の帰国後のアフターケアを充実してほしい。
- ・外国人留学生の同窓会組織等のデータベースを作成し、地域社会や企業と連携して活用を図っていくべきである。（ホームページの充実を図る。）

- (3) 環日本海の研究拠点としての極東地域研究センターが果たすべき役割について

- ・全学組織としての充実を図り、幅広い分野の教員の参加を図るべきである。
- ・地域との連携に積極的な役割を果たしてほしい。
- ・産学官連携の橋渡し機能を担ってほしい。
- ・法人化後のセンターの役割を検討し、全学的な協力体制が必要。また、学外の研究者（特に富山県内）との協力体制を推進してほしい。

なお、出席された委員は次の方々です。（五十音順）

- 石坂 誠一（前富山国際大学長）
- 井上 孝美（放送大学学園理事長）
- 中尾 哲雄（富山経済同友会代表幹事）
- 橋本 茂信（元公立学校教員）
- 平能富太郎（元北陸銀行取締役）
- 福岡 隆（富山県教育委員会教育長）
- 山田 圭蔵（北陸経済連合会会長）

# 人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏名	異動前の所属官職	異 動 内 容
採 用	14. 12. 1	山崎 敦史		文部科学事務官（経理部経理課）
	”	宇野 智則		” （ ” ）
	”	河西志津子		事務補佐員（総務部研究協力課）
	14. 12. 12	ティアンシェン・ツァオ		講 師（中核的研究機関研究員）（ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー）
	14. 12. 16	劉 貴慶		助 手 工学部（物質生命システム工学科プロセス工学）
	”	浅田 琢		事務補佐員（附属図書館情報管理課）
昇 任	14. 12. 1	黒岡 武俊	助手 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科	助教授 工学部（物質生命システム工学科 プロセス工学講座）
転 任	14. 12. 1	上田 桃子	文部科学技官（施設課）	東京大学施設部建築課土木掛
	”	宮部 寛志	助教授 教育学部（理科教育講座）	助教授 名古屋工業大学 工学部
辞 職	14. 12. 31	地崎 昇	総務部研究協力課専門職員	辞 職
退 職	14. 12. 14	土田 亮子	事務補佐員（教育学部）	平成14年12月13日限り退職
	14. 12. 17	松井 輝代	臨時用務員（教育学部炊婦）	平成14年12月16日限り退職
	”	堰免 芳子	” ”	”
	”	仲谷千鶴子	” ”	”
	”	藤井 香	” ”	”
	14. 12. 21	山田 知訓	事務補佐員（経済学部）	平成14年12月20日限り退職

## 学 内 諸 報

## 平成14年度学長主催による外国人研究者及び外国人留学生との懇談会を開催

本年度の「学長主催による外国人研究者及び外国人留学生との懇談会」が12月4日（水）午後6時から名鉄トヤマホテルにおいて、学長、副学長をはじめとする関係教職員、留学生及び研究者等約350名が出席して開催されました。

この懇談会は、本学に在籍する外国人研究者及び留学生と教職員が一堂に会して、親しく懇談し、より一層の交流と相互理解を深めることを目的として、毎年開催されているものです。

また、日頃から留学生や研究者への生活支援活動をされている富山県婦翔会、五福校下学生アパート組合、富山大学生生活協同組合、とやま国際センター、富山ハンドインハンド、富山県青船会からも出席をいただき、意義深い懇談会となりました。

懇談会では、日本人学生との交流として、吹奏楽部による「聖者の行進」など威勢のいい3曲の演奏、中国、韓国及びマレーシアの民族衣装を身に纏った留学生による歌や踊り、職員と留学生によるマジックショーの披露、

学長をはじめとする教職員と留学生が一体となった「明日があるさ」と「幸せなら手を叩こう」の大合唱があり、最後に出席者が一列になって「ジェンカ」を踊り、盛り上がりのなか終了しました。



△懇談会で挨拶する瀧澤学長

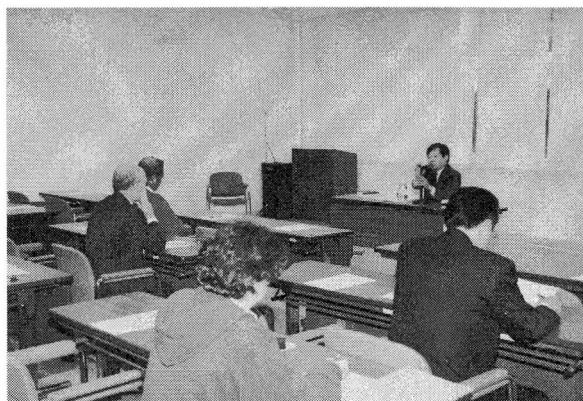
## 平成14年度第2回事務職員啓発セミナーを開催

本学の事務職員を対象とした平成14年度第2回事務職員啓発セミナーが12月12日（木）黒田講堂会議室において開催されました。

このセミナーは、3年前から開催されているもので、今回は、平成16年度の独立行政法人化に備えて、民間企業に勤務し、部長、副社長の職責も勤められた三浦哲男 本学経済学部助教授から「企業組織のあり方」と題して1時間半余の講義が行われました。

講義では、同助教授が自らの経験に基づき、①企業の目的等②企業の変化③企業の戦略等について述べられました。

また、講義後には、法人化に伴う評価や研修等についての質疑応答があり、大変有意義な啓発セミナーとなりました。





## 平成15年度産学官連携施策等説明会を開催

12月13日（金）に黒田講堂会議室において、中部経済産業局との共催の平成15年度産学官連携施策等説明会が開催されました。

この会議は、産学官の連携・協力推進を図ることを目的として開催されたもので、産業クラスター計画の考え方と今後の進め方、産学官連携の主な研究開発助成事業及び知的財産戦略についての説明が行われ、参加した教職員や企業関係者等が熱心に聴き入り、産学官連携に対する関心の高さがうかがわれました。



△講演する中部経済産業局北陸支局ガス課課長 野田 豊氏

## セクシュアル・ハラスメント等に関する研修会を開催

12月16日（月）に黒田講堂会議室において、学内のセクシュアル・ハラスメント等の防止及び予防を図るための研修会が開催されました。

この研修会は、本学セクシュアル・ハラスメント等対応委員会が主催したもので、関西学院大学総合政策学部専任講師の吉野太郎氏が、「被害者救済の視点から考えるセクシャル・ハラスメントについてーセクシャル・ハラスメント対策からアカデミック・ハラスメント対策へー」と題して講演されました。

今回の研修会は、特にキャンパス・セクシュアル・ハラスメントを中心としたもので、同講師は教官の権力や被害者のサポート・システム等について実例等を引用し、被害者が人生の方向転換を強いられることもあることなどに言及されました。また、事例毎について各参加者にセクハラと「感じない・感じる」を1～6段階別に問うたところ、幅広く意見が分かれる等、改めて対応の困難性や複雑性が再認識されました。

なお、講演終了後には、参加者から常日頃疑問や悩んでいることについて熱心な質疑応答がありました。



△講演する吉野太郎講師

## 教育学部において自衛消防訓練を実施

12月18日（水）に教育学部において自衛消防訓練が実施されました。

訓練では、教職員25人及び学生22人計47人が参加し、富山消防署への通報連絡に始まり、同学部第2校舎から附属教育実践総合センター横の空地への避難訓練、消火器を用いた消火実地訓練及び火災報知器設備・非常放送設備の取り扱い説明会等が行われました。

また、この消防訓練で、自衛消防隊の避難救護班員や消火班員等としての役割分担や任務が再確認されるとともに、女子学生が初めて実際に消火器を使用するなど、大変有意義な訓練となりました。

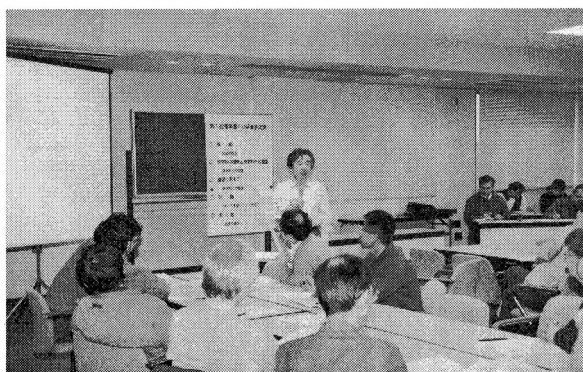


## 理学部FD（ファカルティ・デベロップメント）研修会を開催

12月18日（水）に経済学部会議室において理学部FD（ファカルティ・デベロップメント）研修会が開催され、理学部教官84名のうち、授業や出張等でやむを得ず欠席した者を除く68名が出席しました。

今回のテーマは「理学部の教育を考えるーパート1・専門基礎科目ー」で、最初に、岡部理学部長からFDの意義、専門基礎科目の特徴及び学生アンケートによる学生の声等の説明があり、次いで、各学科から「自学科の現状と他学科への要望」と「要望に答えて」という発表がなされました。

その後、活発な全体討論があり、今後、各学科や学部で改善のための取り組みとして検討していくことが確認されました。



## (海) (外) (渡) (航) (者)

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡航先国	目 的	期 間
外国出張	工学部	教授	米田 政明	ニュージーランド	International Conference on Computers in Education 2002国際会議に出席, 研究発表	14. 12. 1 } 14. 12. 7
	理学部	助教授	張 勁	アメリカ合衆国	AGU 2002 Fall Meetingに出席, 研究発表及び研究打合せ	14. 12. 6 } 14. 12. 14
	教育学部	教授	山地 啓司	アメリカ合衆国	マラソン走行中の運動強度に関する研究のため	14. 12. 7 } 14. 12. 12
	教育学部	講師	青木 一真	イ	共同研究成果発表会に出席及び研究発表	14. 12. 14 } 14. 12. 19
	工学部	助教授	廣林 茂樹	台 湾	APIEM2002に出席, 研究発表	14. 12. 17 } 14. 12. 21
	工学部	助手	小越 康宏	台 湾	APIEM2002に出席, 研究発表	14. 12. 17 } 14. 12. 21
	工学部	教授	椿 範立	中 国	共同研究打合せ	14. 12. 21 } 14. 12. 29
	極東地域研究センター	教授	川田 邦夫	中 国	「松花江流域における積雪分布調査と融雪流出予測システムの開発」に関する研究打合せ	14. 12. 23 } 14. 12. 26
	経済学部	教授	金 泰吉	韓 国	韓国経済の構造調整に関する意見交換及び資料収集	14. 12. 23 } 14. 12. 30
	人文学部	助教授	呉人 恵	ロ シ ア	コリヤーク語資料収集	14. 12. 25 } 15. 1. 11
海外研修	理学部	助手	唐原 一郎	アメリカ合衆国	分裂準備帯の発達過程におけるクラスリン 被覆小胞の役割についての研究を行う。	14. 12. 7 } 15. 1. 1
	人文学部	教授	小川 洋通	モロッコ, ポルトガル, スペイン	資料収集	14. 12. 19 } 15. 1. 9
	教育学部	教授	長谷川総一郎	オーストリア	美術館教育に関する調査及び資料収集	14. 12. 22 } 14. 12. 29
	教育学部	教授	押田 雅次	中 国	「書作品」に関する調査及び資料収集を行う。	14. 12. 25 } 14. 12. 29
	経済学部	教授	小倉 利丸	イ ン ド	アジア社会フォーラムのカンファレンス, セミナー及びワークショップに参加	14. 12. 31 } 15. 1. 10

## (外) (国) (人) (来) (訪) (者)

氏 名 (国 籍)	本国における 所属機関・職名	来 学 目 的	本学受入れ先	期 間
バリー・ヒューレット Barry Hewlett (アメリカ合衆国)	ワシントン州立大学・教授	民族的アイデンティティの再編成に関する人類学的研究についての研究打ち合わせ	人文学部助教授 竹内 潔	14. 12. 12 } 14. 12. 15

# 主 要 行 事

## 本 部

- 12月2日 人文・社会科学系学長懇談会（於：静岡大学）  
事務局連絡会  
富山県学生部懇談会（於：富山国際大学）
- 4日 学長主催による外国人研究者及び外国人留学生との懇談会（於：名鉄トヤマホテル）
- 5日 富山大学運営諮問会議  
入学試験実施委員会
- 6日 構想策定委員会（於：富山医科薬科大学）  
推薦入学，帰国子女・社会人特別選抜合格発表  
富山県大学長懇話会及び大学連携協議会（於：富山医科薬科大学）  
内閣府参事官補佐来学
- 9日 事務局連絡会
- 10日 学術交流部会
- 11日 構想策定委員会  
国家公務員業務等説明会
- 12日 中部地域産学官連携サミット（於：ホテルグランドコート名古屋）  
事務職員啓発セミナー
- 13日 再編・統合検討委員会  
入学試験管理委員会  
入学試験実施委員会  
大学入試センター試験入試担当者協議会（於：昭和女子大学）  
産学官連携施策等説明会
- 16日 事務局連絡会  
国際交流委員会  
運営会議  
大学教育委員会  
年史編纂委員会  
セクシュアルハラスメント研修会
- 19日 安全管理委員会  
退職予定者説明会  
財務会計システム説明会
- 20日 部局長会議  
評議会
- 24日 構想策定委員会（於：富山医科薬科大学）

北陸地区国立大学長懇談会（於：金沢大学）

- 25日 事務局連絡会  
事務協議会
- 27日 構想策定委員会  
仕事納め

## 附 属 図 書 館

- 12月16日 年史編纂委員会
- 19日 附属図書館運営委員会
- 12月から海外衛星放送テレビ（ASIASAT-2）の供用を開始

## 教 養 教 育

- 12月10日 教養教育実施専門委員会  
教養教育運営協議会  
外国語系部会第2分科会
- 16日 教養教育企画専門委員会
- 20日 自然科学系部会
- 24日 総合科目部会
- 25日 教養教育実施専門委員会  
教養教育運営協議会

## 人 文 学 部

- 12月4日 教授会
- 9日 学部研究評価対応委員会
- 11日 学部入学試験委員会  
学部教務委員会  
人文科学研究科小委員会  
学部自己点検評価委員会  
学部法人化対応委員会  
学部国際交流委員会  
学部将来計画委員会
- 16日 特別昇給委員会  
学部法人化対応委員会
- 18日 学部教務委員会  
学部教務委員会・教務担当者合同会議  
人文科学研究科委員会

## 教授会

人文学部長候補者選挙管理委員会

19日 学部広報委員会（持ち回り）

24日 人文学部長候補者選挙管理委員会

25日 学部研究評価対応委員会

学部法人化対応委員会

## 教 育 学 部

12月4日 学部入学試験委員会

教授会

紀要編集委員会

学部将来構想委員会

学部交通安全講習会

5日 平成15年度附属養護学校（小学部・中学部）

入学者発育検査

6日 平成15年度附属養護学校（小学部・中学部）

合格者発表

9日 学部教務委員会

平成15年度附属幼稚園入園児発育検査（3歳児）

10日 学部国際交流委員会

配分比率評価委員会

平成15年度附属幼稚園入園児発育検査（4歳児）

11日 研究科小委員会

防火対策委員会

研究科委員会

教授会

人事教授会

12日 平成15年度附属幼稚園発育検査合格者発表

13日 平成15年度附属幼稚園入園児第2次選考（抽選）

附属養護学校避難訓練

18日 給与及び在外研究員等検討委員会

教育実習運営協議会

消防訓練

教育学部及び附属学校園共同研究プロジェクト研究推進委員会

19日 附属幼稚園第2学期終業式

20日 附属小学校及び附属養護学校第2学期終業式

## 経 済 学 部

12月3日 図書等委員会

学部教務委員会

4日 学部国際交流委員会

教授会

5日 研究科小委員会

人事基本問題検討委員会

9日 学部総務委員会

防火・防災対策委員会

10日 学部教務委員会

11日 人事教授会

研究科委員会

教授会

17日 学部学生生活委員会

学部教務委員会

18日 財務委員会

将来構想等検討委員会

19日 学部自己点検評価委員会

## 理 学 部

12月4日 大学院理工学研究科博士前期課程理学部会  
教授会

5日 学科長会議

6日 推薦入学等特別選抜入試合格者発表

大学院部会拡大WG（理・工）

11日 第3年次編入学者選抜試験（第2次募集）

学部教務委員会

大学院理工学研究科博士後期課程部会

特別健康診断

12日 出前講義（富山東高等学校）

大学院理工学研究科博士前期課程理学部会教育委員会

学科長・施設委員の合同会議

学科長会議

13日 学部安全管理委員会動物実験安全専門委員会（持ち回り）

学部教務委員会

17日 古紙回収

18日 教授会

人事教授会

理学部FD研修会

大学院理工学研究科博士前期課程理学部会専

- 任教授会  
 19日 第3年次編入学者選抜試験（第2次募集）合格者発表  
 24日 理学部法人化対応委員会  
 25日 学科長・大学院担当WG委員の合同会議  
 学科長会議  
 26日 学部教務委員会（持ち回り）

- 24日 学部入学試験検討委員会  
 25日 学部運営委員会  
 26日 学部教務委員会

#### 地域共同研究センター

- 12月2日 運営委員会（持ち回り）  
 2日～  
 4日 先端技術研修（バイオコース）  
 9日～  
 13日 先端技術研修（環境コース）  
 10日 大学院生教育講座  
 講義テーマ；雷現象と北陸の雷研究  
 講師；片岡直昭（地域共同研究センター客員教授，北陸電力（株）技術開発研究所所長）  
 会場；富山西総合制御所  
 運営委員会（持ち回り）

#### 工 学 部

- 12月2日 学部入試試験検討委員会  
 3日 学部教務委員会  
 4日 教授会  
 専任教授会  
 理工学研究科博士前期課程工学部会  
 5日 学部外国人留学生委員会  
 工学部教育業績評価検討会  
 6日 大学院部会拡大WG（理・工）  
 9日 学部将来計画委員会  
 学部運営委員会  
 10日 学部教務委員会  
 11日 学部学生生活委員会  
 理工学研究科博士前期課程工学部会  
 理工学研究科博士後期課程部会（工学系）  
 理工学研究科博士後期課程部会  
 18日 工学部教育業績評価検討会

#### 生涯学習教育研究センター

- 12月9日 生涯学習事業担当者連絡会（於：金沢大学サテライト・プラザ）

#### 総合情報処理センター

- 12月13日 運営委員会

《訂正》

第 454 号 15 ページの「バドミントン大会を開催」の試合結果に下記のとおり誤りがありました。

誤	正
☆3 位 総務部・経理部チーム	☆3 位 学生部・経済学部チーム

お詫びして訂正します。



△マレーシア人留学生による民族舞踊



△中国人留学生による民族舞踊



△瀧澤学長，新屋事務局長及び各国留学生の合唱

編集 富山大学総務部企画室 〒930-8555富山市五福3190 TEL.(076) 445-6029 FAX.(076) 445-6033  
印刷所 あげぼの企画(株) 〒930-0031富山市住吉町1-5-18 TEL.(076) 424-1755 FAX.(076) 423-8899